

事務事業評価表(既存事業)

コード 4-1-20	事務事業名 姉妹・友好都市施設利用助成事業	所管部課 市民生活部生活文化課
---------------	--------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 姉妹・友好都市との交流により、市民の健康の増進及びレクリエーションの振興を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)協働で拓くまちづくり (施策)市民主体のまちづくりの推進 (協1-1) (主要施策)都市間交流
	実施内容、実施方法 西東京市が保養施設として契約した姉妹都市・友好都市にある旅館及び民宿を西東京市民が利用する際、助成金を交付する。 助成金額(一泊あたり) 旅館:大人 2,000円 子ども(13歳未満) 1,500円 年間3泊まで 民宿:大人 1,500円 子ども(13歳未満) 1,400円 下郷町の民宿を15人以上の団体で利用する場合には、大人1,400円、子ども1,300円の助成。下郷町のみ、一般料金より割安な契約料金あり。	根拠法令等 西東京市姉妹都市・友好都市施設利用助成金交付要綱
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )

評価指標の設定	活動指標名 申請件数	活動指標の考え方(定義) 各交流都市の施設利用助成の申請があった数
	成果指標名 利用者数	成果指標の考え方(定義) 契約宿泊施設の利用人数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度(予算現額)
事務事業データ	事業費(A)		523	1,698	1,862	1,900
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		523	1,698	1,862	1,900
	所要人員(B)	人	0.31	0.46	0.46	0.46
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,556	3,806	3,831	3,831
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	3,079	5,504	5,693	5,731
	単位当たりコスト (E)=(D)/(申請件数)	千円		6	6	
	歳入	千円				
	活動指標	目標値	件			100
実績値		件		73	114	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	人			650	950
	実績値	人	302	911	1,031	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等における類似事業	姉妹都市・友好都市を持つ他市の多くが同様の制度を設けているが、助成の基準や条件が異なる。また、西東京市の中でも、高齢福祉課では、「高齢者保養施設利用者助成事業」(一部重複施設あり)を実施、保険年金課では「国民健康保健保養施設」利用の際に助成金を出している。
	運営上の制約条件・外部要因等	現地での宿泊料金の精算がない場合(旅行代理店が発行したクーポン券を利用して宿泊する場合など)、観光協会を通して助成金を支払っているため、この助成は利用できない。

コード 4-1-20	事務事業名 姉妹・友好都市施設利用助成事業	所管部課 市民生活部生活文化課
---------------	--------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	毎年当助成制度を利用している人数が増加していることから、実績は良好であると判断できる。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	姉妹・友好都市との交流により、市内にはない自然を満喫するなど、市民の健康の増進及びレクリエーションの振興を図るためにも必要である。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	利用者の確認(年間の利用日数、住民登録の有無等)に手間と時間がかかっている。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	年間の利用可能宿泊数を旅館は3泊までに制限することで、より多くの市民が利用できるようにしている。 利用者のうち人数の多い団体は毎年同じ団体であることや、利用者のおよそ7割が2年連続(15～16年度)利用しているなど、利用者に偏りがある。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	ここ2年ほど、当初の利用見込みを大幅に上回る申請があり、その申請に基づき助成金を交付している。 利用者が増えれば市の負担額は大きくなる一方であり、また、利用者の7割がいわゆる常連であることから、下郷町のような契約料金を設けるなど西東京市民であることが確認できればその利用者の宿泊料金を割り引きにするなどの方法で、見直すべき時が来ているのではないかと。

17年度における改善点	利用者の確認システムを一本化し、作業効率の向上に努める。
-------------	------------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。